

事件は現場で起きています



## 乳牛にとって長時間の起立は苦痛!!

### 「牛の体重は重いですが足は非常に小さい!」

広酪事業推進課 係長 大島達夫

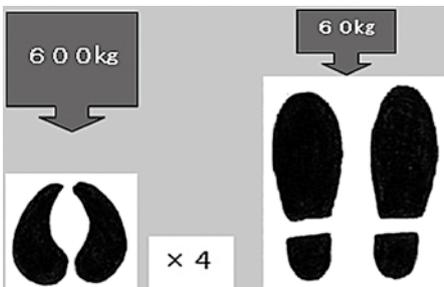
長時間じっと同じ姿勢で立っていることは、体重の軽い人間にとってもかなりの苦痛になります。では、足が4本ある乳牛にとってはどうなのでしょう?

私は身長170cm 体重65Kgですが、乳牛も経産牛になると体高150cm 体重700kgにもなり、10倍以上の体重があります。

私は、ある牧場の牛が牛床内でどうしても斜めに立って隣の枠にはみ出す理由が分からず観察したことがあります。結局、その理由は隣の牛にいじめられるからでも無く、また餌や水の摂取に支障があるからでも無く、彼女のマットは古くて後肢の部分が欠落していたからでした。彼女は堅いコンクリートの上に立ちたくなくて、少しでも柔らかいところに立てるよう斜めに立って、隣の牛のマットの上に自分の後肢の蹄を乗せて少しでも楽に立つことができるようにしていたのでした。

#### ■牛の四足が大人二足分?

乳牛の体重は2つに割れた蹄で支えられているため、4つの脚全部を合わせても地面に接地している面積はそんなに大きいものではありません。4つ合わせてようやく大人の両足の靴裏の面積と同等になるそうです。約10倍も体重があることを考慮すると乳牛がただ「立ち続けている」だけでも大きなトラブルの元になるかを考えて頂きたいと思



社団法人栃木県獣医師会のホームページ中  
産業動物>牛のからだについて ~人体との  
比較より資料提供

#### ■実際の前蹄の構造

図にも見られるように、牛の蹄は硬い蹄底の下(上)には蹄底真皮があり、その後あまりクッションをはさむことなく蹄骨(末節骨)が存在しています。そのため、牛が立ちっぱなしでいることは蹄に非常に負担を掛けていると言えます。

バランスを欠いた濃厚飼料の多給や粗飼料の不足によりルーメンアシドーシスとなると、第1胃で産生された乳酸、ヒスタミンやエンドトキシンが血流によって負荷のかかる部分の毛細血管に炎症を起こさせます。

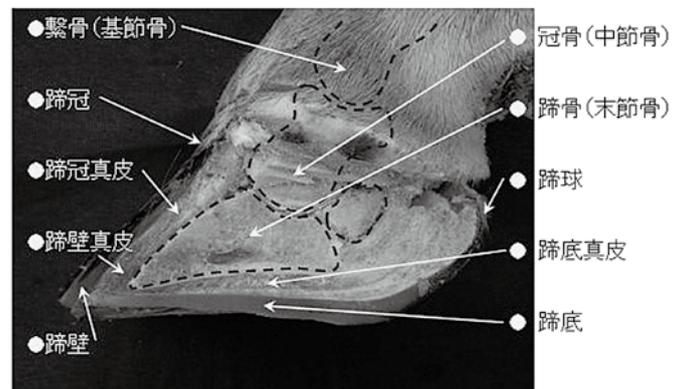
「カウコンフォート不足」、「暑熱対策の不足」、「給

餌間隔不適切」で乳牛が立ちっぱなしでいると小さな面積で大きな体重を支えている牛の蹄底に炎症や出血が起こるのは意外に簡単なことなのです。

#### ■乳牛は寝てなんぼ

今年の夏は出だしが涼しいので、例年の様な暑熱対策が遅れがちになっているような気がします。実際、肝臓に流入しエネルギー代謝に係る血液の量、反芻する数、巨大な体が動くことによるエネルギーロス等を考えれば、実際、乳牛は「寝てなんぼ」です。それなのに、これからの暑い季節では牛舎内で立ちっぱなしになる牛を間々見かけます。幸いまだ余裕のあるうちに脚・蹄への配慮を含めての暑熱対策・カウコンフォートの再考をお願いします。

【趾端の断面】



写真提供; 雪印種苗株式会社「畜産技術情報; 乳牛> 疾病> 蹄の疾病について

(参考) この記事掲載にかかり、社団法人栃木県獣医師会、雪印種苗株式会社の許可を得ております。